



今回のお楽しみ「米揚げ蒴」

今回ご紹介するのは「米揚げ簀」というお噺です。「簀(いかり)」とは、研いだお米を釜に移す前に水気を切るために使う「ざる」のことで、釜へ入れやすいよう片方の口が開いています。かまどでご飯を炊いていた時代には、どの家にもあったんですよ。

さて、お噺の方は、笹屋の売  
り子の仕事を勧められた主人公  
の男。紹介状を持って天満の源  
蔵町にある笹屋重兵衛の店へと  
やって来ますと、笹を上手に売  
るコツを教わり、早速、往来へ  
と売りに出ます。初めのうちは  
なかなか売り声が出ませんでした  
が、そのうち段々と慣れてき  
まして「大豆、中豆、小豆に米  
を揚げる笹はどうですか．．．」  
なんて、ずいぶんと板について  
きた頃、たどり着いたのが米相  
場の立っていた堂島界限。男が  
「米を揚げる米揚げ笹．．．」と  
声を張り上げると、その声を聞  
きつけた米問屋の旦那が．．．



皆さん、こんにちわ、そうですね亭妻です。今月も、どうぞ、お付き合いをお願いします。

落語  
DE  
火の用心



享保15年（1730年）、当時の大坂には全国の年貢米が集まり、江戸幕府は堂島で行われる正米商い（しょうまいあきない）と帳合米商い（ちようあいまいあきない）を公認、堂島米市場と呼ばれる公的市場が成立しました。正米商いは現物取引のこと、帳合米商いはいわゆる先物取引のことで、堂島米市場は、現代の基本的な先物市場の仕組みを備えた世界的整備された先物取引市場であったそうです。

堂島米市場で形成された米価は、飛脚や旗振り通信などによって江戸や地方の主要都市にまで伝えられ、各地の米相場の基準となりました。

堂島米市場跡には、写真のように2つのモニュメントが設置されています。



笊(いかき)



\*「稲に遊ぶ子供」  
彫刻家 横江嘉純 昭和30年(1955)



\*「一粒の光」  
建築家 安藤忠雄 平成30年(2018)

\*江戸時代天保年間に発行された古地図「浪華名所獨案内」が閲覧できるサイト  
[https://viewer.stroly.com/\\_OP\\_Rumsey5502Osaka1830\\_jhm000538a](https://viewer.stroly.com/_OP_Rumsey5502Osaka1830_jhm000538a)

それでは、今月の消防落語は、令和5年11月の「OBCラジオまつり ふれあい広場」に出演しました、わたくし、そなえ亭恐妻の、身内からは防火防災のことに全然触れていないと非難轟々の創作小噺「立入検査（クリニックビル編）」です。是非、お楽しみください。



## プチ上方言葉講座

「せやな」

【意味】  
同意していることを表明する言葉。  
標準語でいう「そうね」「そうだな」  
など。

【使用例】  
「グレーにしとき。白は絶対に汚れ目立つて。」「せやな。」



**茨木市消防本部**  
**災害時、市民を守る盾となる!!**



## 救助工作車(Ⅲ型)

## 西河原分署 高度救助隊

市民を守る盾（shield）になるという意味合いでつけられたのが、高度救助隊の愛称「Super Rescue Team SHIELD」。各種災害から、市民の安全・安心を確保するというメッセージが込められている。

車名：日野  
通称：救助工作車（Ⅲ型）  
シャーシ型：SDG-GX7JGAA 改  
全長：7.95m  
全幅：2.30m  
全高：3.20m  
ホイールベース：3750mm  
配備年月日：平成24年1月12日



**消防車両用語⑧** アウトリガージャッキ：車体をしっかりと固定するためのジャッキ



# 消防 漢字 ガール

Fire Fighter Kanji Girl

国立大学文学部卒で大阪市内の某消防署に勤務する、漢字を愛してやまない消防女子「淀橋文子」が防火防災に関する「漢字」の意味や成り立ちを解説する「消防漢字ガール」。さて、今月の漢字は…。

## 【危】

意味:あぶない。あやうい。害する。そこなう。すつくと高く立つ。

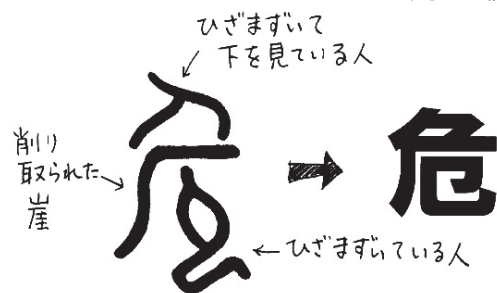


今月の漢字は危険物の「危」で～す。さて、いつものように成り立ちを見てみると、まずは「厂」の部分、これは「削り取られた崖」を表していて、その上の「ク」は跪(ひざまず)いて下を見ている人の姿なんです。これだけでも「あぶない!」っていう感じでしょ? さらに「厂」の下にある字形も跪く人の姿なので、「危」は断崖絶壁とその上下に描かれた跪く人から成り立ってるわけ。

まとめると、崖の上から飛び降りるあるいは落下するという非常に不安定で危ない状況＝「あぶない、あやうい」ということらしいけど、高いところから飛び降りることから、「高い」の意味も含んでるらしいです。

音読みは「キ」、訓読みは「あぶ(ない)」のほか「あや(うい)」や「あや(ぶむ)」、常用漢字表外では「あや(める)」「たか(い)」「ただ(す)」とも読みます。画数は「6画」、部首は「尸(ふしづくり、わりふ、まげわりふ)」で～す。

※訓読み⇒( )の中は「送りがな」



と・こ・ろ・で。実は私、先月末に受験した『危険物取扱者(乙種4類)』の試験に合格したんです!!(きゃー、おめでとう!パチパチパチッ!) 危険物取扱者の資格は国家資格で、危険物を貯蔵し取り扱う場所で活躍できる専門的な知識を有する存在、いわゆる危険物のスペシャリストなの。給油施設のある消防署内でも、消防車両への給油作業には危険物取扱者の立会いが必要ですね。一度取得すれば一生ものの資格だし、現場活動はもちろん、立入検査や訓練指導の際にも非常に役に立ちます。あなたもチャレンジしてみては? ということで、今月はこれでおしまい。じゃあねー。

【今月の警防担当司令の迷言】

「サブスクってどこで売ってるんや?」(あなたならどう説明しますか?)

## コスモ石油ルブリカンツ株式会社 大阪工場

コスモ石油ルブリカンツ株式会社は、コスモエネルギーグループの潤滑材全般を担う会社として、潤滑油やグリースの研究開発・製造から販売・管理までを一貫して行える体制を敷いています。大正区に置く大阪工場は、現コスモエネルギーグループの前身である会社も含めて、2021年にグリースの製造開始から100周年を迎えており、これまでに自動車や産業機械等の各分野へ向け、環境対応や長寿命を有する多くの高性能グリースを製造してきました。



また、最近では、新たな取り組みとして、近年の機器の電動化に対応した放熱材の製造にも力を注いでいます。大正自衛消防協議会では役員を務められ、協議会の各行事にも積極的に参加されるなど、高い防火・防災意識で自主防災に取り組みられています。

## 自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長  
林 健司

弊工場では、「安全第一意識」をモットーに、全従業員が一丸となって、万が一の災害に備え、定期的に防災に関連する訓練や情報収集を行い、更なる防災意識の向上・体制の強化に努めて参ります。



## 女性防火クラブだより

北 区



北区女性防火クラブは、平成3年に地域振興会女性部を主体に組織されました。発足から33年余になりますが、「自分たちの地域は自分たちで守る」というスローガンを掲げ、地域における防火・防災の推進に努めてきました。昨年は、地域防災リーダーとの防火・防災訓練、救急救

命講習への合同参加、防災研修会、その他、地域防災訓練や防災イベントにも積極的に参加し、地域住民の防災意識の向上に努めてまいりました。また、私たちが住んでいる日本は地震列島とも呼ばれるほど地震が多く、今年の1月1日に発生した能登半島地震から約半年近くが経ちましたが、365日、いつでも被災する可能性がある」と改めて危機感を抱きました。

いつ発生してもおかしくない大災害に「備える」「被害を最小限に抑える」をモットーに、これからもクラブ全員が一丸となって、関係機関と密に連携し、地域コミュニティの活性化に繋がる活動を推進していきます。



表彰

令和6年3月18日付け

火災原因調査(賞与)

|                |       |
|----------------|-------|
| 住之江消防署 2部 警防担当 |       |
| 消防司令           | 若森 稔  |
| 消防司令補          | 廣田 邦彦 |
| 消防司令補          | 益野 剛史 |
| 消防士長           | 谷垣 厚誌 |
| 消防士            | 山内 英太 |

令和5年3月6日、住之江区の先路上で発生した貨物自動車が1台焼損した火災に伴う原因調査において、出火原因を特定することにおいて、メーカーに対して原因調査と安全対策についての要望書を提出し、メーカーからの回答により同年式の車両すべてにおいて、車両組み立ての際に誤って配線を組み付けていたことが判明したため、同車種に対してリコールが発表されたもので、類似火災の発生防止に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

|                  |       |
|------------------|-------|
| 鶴見消防署 1部 鶴見第2救急隊 |       |
| 消防司令補            | 北園 喜一 |
| 消防士長             | 荒木 竜男 |
| 消防士              | 山下 千寿 |

宜、出場各隊へ伝達し被害を最小限に抑える活動へと導いた功績による。

救急活動(賞与)

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 浪速消防署 2部 浪速小型タンク小隊 |       |
| 消防司令補              | 佐藤 一也 |
| 消防士長               | 石井 智大 |
| 消防士                | 森川 奨也 |
| 消防士                | 久原 尚太 |

令和5年11月27日、浪速区の地下鉄駅構内で発生した60代男性の心肺停止事案において、救命連携活動隊として出場。現場到着後、直ちに傷病者の観察を行いCPAであることを確認したため、バイスタンダーが実施していた胸骨圧迫を引き継ぐとともに除細動パッドを着着。解析を行うと除細動の適応であったため、周囲の安全を確認したうえで除細動を実施した。除細動実施後は胸骨圧迫及び人工呼吸を再開するとともに、バイスタンダーから情報収集を実施した。救急隊到着後も情報共有を図るとともに、救命処置の補助を行っていたところ、現場にて自己心拍及び自発呼吸の再開を認めた。その後も搬出準備を的確に行い安全な搬出協力も実施したもので、バイスタンダーから引き継いだ傷病者に対して、質の高いCPRを実施し救急隊に引き継いだ。このことが傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

令和5年10月25日、鶴見区の共同住宅で発生した救急事案において、現場到着後、傷病者と接触し観察を実施した結果CPAであることを確認したため、直ちに胸骨圧迫を開始し、インハレター付きバックバルブマスクによる人工呼吸を開始した。さらに、除細動パッドを着着し、心電図を解析したところ、心室細動であることを確認したため、直ちに除細動を実施しCPRを継続した。医師に特定行為の指示受け及び収容受け入れ確認を行い、自動心肺蘇生器を着着した。2回目の解析時も心室細動であり除細動を実施した。その後、総頸動脈にて心拍の再開を確認し、下顎呼吸の再開を認め、確認が、確実な換気を実施するためLTSによる気道確保を実施した。車内収容後、有効な自発呼吸を確認したため、補助呼吸に切り替え、搬送中も補助呼吸及び全身観察を継続し、症状の悪化防止に注意を払いながら病院への早期搬送に努め、心肺機能を維持した状態で医師に引き継いだもので、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

救急活動(賞与)

|                |       |
|----------------|-------|
| 福島消防署 1部 福島救急隊 |       |
| 消防司令補          | 小畑 弘道 |

都島消防署 1部 都島小型タンク小隊

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 藤原 伸司 |
| 消防司令補 | 谷村 勇樹 |
| 消防司令補 | 植野 靖司 |
| 消防士   | 坂本凜太郎 |

令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場から切り替えられた第一出場隊として出場。現場到着時、中隊長より要救助者が多数あるため救出活動にあたるよう指示を受けた。建物北側において、赤川小型タンク小隊隊員から201号室内に要救助者がいる旨を聴取し、バスケット担架の搬送を依頼された。なお、当該201号室の腰高窓下には庇部分があり、折りたたみ梯子にて庇上に至り、201号室内へバスケット担架を搬送。高倉小型タンク小隊隊員及び赤川小型タンク小隊隊員と協力して要救助者をバスケット担架に収容後、庇上にショートピックアップし応急はしごにて地上へ救出した。その後も建物内にて検索活動を実施。他隊と連携してかかえ搬送により要救助者2名を地上へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞詞)

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 都島消防署 1部 高倉小型タンク小隊 |       |
| 消防司令補              | 畠中 喜之 |
| 消防士長               | 尾崎 裕基 |
| 消防士                | 神志那和樹 |
| 消防士                | 西野 嵩  |

令和5年11月8日、此花区の住宅で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者はトイレ内の壁にもたれかかった状態で床に坐位であり、通報者である家人がそばにいた。観察を実施した結果、CPAと判明したため直ちに小移動させ活動スペースを確保し、AEDを着着するとともに、バックバルブマスクを用いてCPRを開始した。なお、心電図の波形は心静止であった。その後、医師から特定行為の指示を受け、気管挿管及び静脈路確保を実施した。直後の効果確認において、総頸動脈及び橈骨動脈で脈拍を触知し、心拍再開を確認した。心拍再開から4分後には下顎呼吸が出現し、人工呼吸を継続した。搬送先医療機関の選定に苦慮するも、その間も適切に傷病者管理を実施し、状態を悪化させることはなかった。また、搬送中に容体が悪化した際の活動方針を共有し、的確に傷病者の状態を把握しながら医療機関へ搬送し医師に引き継いだもので、傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

非番日等における救急活動(賞与)

|               |       |
|---------------|-------|
| 水上消防署 1部 警防担当 |       |
| 消防司令          | 松吉 伸明 |

令和5年11月19日、非番日に原動機付自転車にて発生場所付近を走行中、道路上で女性が倒れているのを発見した。直ちに駆け寄り観察を

実施したところ、CPAであることを確認した。付近にいた男性の119番通報を引き継ぎ、傷病者の観察結果を伝えるとともに胸骨圧迫及び気道確保を実施した。また、救急隊が到着するまで、有効な胸骨圧迫及び気道確保を継続し、到着した救急隊の活動に対しても搬出協力を行った。現場に医師が到着後、救急隊及び医師に対して状況を説明していったところ救急車内で傷病者の心拍が再開したもので、これら一連の行動は消防職員として他の模範となるものであり、傷病者の救命に大きく貢献した功績による。

警防活動に付帯する活動(賞与)

|                |       |
|----------------|-------|
| 警防部司令課 1部 指令管制 |       |
| 消防士長           | 橋口 智史 |
| 消防士長           | 山口 智也 |

令和5年11月27日、住之江区の住宅兼小売店舗で発生した火災現場において、火災の煙を吸って激しく咳込み慌て動揺する通報者に対して発災状況を聴取するとともに、迅速に消防隊を出場させた。また、通報者との通話を切断することなく、通報者が置かれている状況に応じて具体的かつ的確に避難方法を指示することで避難誘導を継続した。その中で世帯状況等の重要情報を聞き出しつつ、最終的には通報者の自力避難を成功させた功績による。

また、無線を担当する管制員は119番通報を受信した管制員の通話を傍受し、その緊迫した状況を速やかに把握して要救助者情報等を適

で搬送し、他小隊へ救出を引き継いだ。さらに、206号室において要救助者を発見し、都島小型タンク小隊と協力してかかえ搬送により地上へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞与)

|                  |       |
|------------------|-------|
| 東淀川消防署 1部 東淀川救助隊 |       |
| 消防司令             | 田中 秀一 |
| 消防司令補            | 植田 健斗 |
| 消防士長             | 中田 侑志 |
| 消防士長             | 中髪 啓介 |

令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場から切り替えられた第一出場隊として出場。現場到着後、2階東側の窓から噴煙を認め、煙中にいた赤川小型タンク小隊小隊長より要救助者情報を聴取するとともに、応急はしごにて救出するよう伝達された。隊員2名が面体を着装し、三連はしごにて室内へ進入。要救助者はベッド上におり、レスクマスクを着着後、ピタゴールを縛着し応急はしごにて安全な地上へ救出した功績による。

火災現場における救助活動(賞詞)

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 東淀川消防署 1部 井高野指定消防火隊 |       |
| 消防司令                | 上村 和之 |
| 消防士長                | 池田 雄仁 |
| 消防士                 | 中川 頌太 |
| 消防士                 | 田村 大也 |



令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場から切り替えられた第一出動隊の第一指揮班として出場。現場到着後、災害状況の把握並びに指揮活動及び情報収集のため発災建物周囲の状況を確認。建物南面に至った際、3階ベランダに要救助者2名を一時避難させていた新森指定消火隊から救出活動の協力要請を受けたため、三連はしごを搬送し当該ベランダへ架梯してベランダへ至り、新森指定消火隊及び旭小型タンク小隊と協力し、応急はしごにて要救助者1名を地上へ救出したものの、その後、屋内階段の煙がクリアになっていないことを確認の上、もう1名の要救助者を屋内階段を使用し、バスケケット担架にて地上へ救出した功績による。

### 火災現場における救助活動(賞詞)

#### 旭消防署

1部 旭小型タンク小隊

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 辻 陽平  |
| 消防士長  | 本田 高希 |
| 消防士   | 川口 柊人 |
| 消防士   | 伊藤 陸玖 |

令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場から切り替えられた第一出動隊として出場。現場到着後、ホースを延長し建物南面に至ったところで、3階ベランダに要救助者2名を一時避難させていた新森指定消火隊から救出活動の協力要請を受けたため、

三連はしごにて3階ベランダへ進入。2階開口部から噴出する濃煙による救出活動障害を防止するため援護注水を実施しつつ、新森指定消火隊と協力して応急はしごにて要救助者1名を地上へ救出した功績による。

### 火災現場における救助活動(賞与)

旭消防署 1部 新森指定消火隊

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令  | 前川 徹  |
| 消防司令補 | 西浦 仁志 |
| 消防司令補 | 榎本 光平 |
| 消防士   | 桑野 峻  |

令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場から切り替えられた第一出動隊として出場。現場到着後、発災建物の屋内階段から3階へホースを延長して消火及び3階各部屋の検索活動を実施。310号室にて車椅子に座っている男性1名を発見したが、室内は煙が充満してきたため、腰高窓を開放し徒手にてベランダへ搬送。男性から隣室にも要救助者がいる旨を聴取したため、311号室内を確認するとベッド上で咳こんでいる男性を発見した。311号室にも煙が充満してきたため、男性をベランダへ搬送し、旭小型タンク小隊と協力して応急はしごにて地上へ救出した功績による。

### 火災現場における救助活動(賞詞)

#### 旭消防署

1部 赤川小型タンク小隊

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令  | 谷内 成次 |
| 消防副士長 | 畠中 俊雄 |

住之江区内における地域防災力向上のため、自主防災組織に対して、防火防災に関する知識及び技術力強化を図るとともに、事業所と協働で防災イベントを行うなど、地域住民と良好な関係性を保ちながら地域防災力の向上を図った。また、地域における防火・防災・防犯に関する防災事業を円滑に行えるよう、区役所、警察署など関係行政機関との連携を密にし、繋がり強い地域体制を構築したもので、地域の防災意識及び防災力の向上に大きく貢献した功績による。

### 予防業務の推進(賞与)

#### 平野消防署

予防担当

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令  | 藤守 康雄 |
| 消防司令補 | 二井 裕平 |
| 消防司令補 | 高井 奈生 |
| 消防司令補 | 近田 良樹 |
| 消防司令補 | 田井 貴文 |
| 消防士長  | 河西 優治 |
| 消防士長  | 中切 健人 |
| 消防士長  | 松井 翼  |
| 消防士長  | 池添 圭祐 |

是正困難対象物への指導を強化するため、「違反は正強化プロジェクト」を立ち上げ、予防担当の中で教養・実践・検証を繰り返すこととして、予防担当が一丸となって違反是正に向けて取り組み、若年層を含めた予防担当職員の知識・技術を向上させるとともに多くの違反対象物を

|       |        |
|-------|--------|
| 消防司令  | 谷 光明   |
| 消防司令補 | 高橋 順一  |
| 消防士長  | 佐久川 哲也 |
| 消防士長  | 野中 健太郎 |

令和5年11月28日、旭区の福祉施設で発生した火災現場において、限定出場指令を受け出場。現場到着後、発災建物の南面に至ると2階より噴煙を認める。関係者から1階の施設利用者は全員避難済みで上階に多数の要救助者が有るとの情報を得る。第一出動への切り替えを即報し、屋内階段から2階へホースを延長して階段室へ至ると2階廊下は中性帯ができている状況であった。面体を着装して2階の各部屋を検索すると、201号室及び205号室にて要救助者を発見した。205号室の要救助者については、小隊長が自ら呼吸管理に努め、後着した東淀川救助隊と協力して応急はしごにて地上へ救出した。また、201号室では隊員が排煙を実施し、都島小型タンク小隊及び高倉小型タンク小隊と協力して折りたたみはしご及びバスケケット担架を活用して安全に地上へ救出した功績による。

### 救急活動(賞与)

#### 城東消防署

1部 中浜救急隊

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 岡村 友広 |
| 消防士長  | 元田 一機 |
| 消防士   | 田代 隼生 |

令和6年1月9日、城東区の製作所で発生した救急事案において、現

場到着時、傷病者は1階の作業場で倒れており、速やかに観察を実施した結果、CPAであることを確認したため、インハレーター付きバツクバルブマスクを用いたCPRを開始した。さらに、除細動パッドを貼付し心電図を解析したところ、心室細動であったため、時期を逸することなく除細動を実施した。医師への特定行為の指示要請中に再度心室細動であることを認めたため、除細動を実施し救命連携活動隊と協力して自動心肺蘇生器に切り替え、車内収容。その後、静脈路確保に成功し、自発呼吸が出現したが不十分であったため補助呼吸を継続。症状の悪化防止に細心の注意を払いつつ早期搬送に努め、医師に引き継いだもので、傷病者の良好な予後に大きく貢献した功績による。

### 予防業務の推進(賞与)

#### 淀川消防署

予防担当

|       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 長嶺 範隆 |
| 消防司令補 | 奥野 裕介 |
| 消防司令補 | 東野 真幸 |
| 消防士長  | 曾我真之介 |
| 消防士長  | 森 奨太  |
| 消防士   | 平井 辰弥 |

立入検査計画中の重点対象物に該当する特定用途防火対象物64件の違反を全て是正させたほか、長期にわたる指導を続けていた非特定用途防火対象物における消防用設備等の未設置を是正させた。また、火災が発生した特定用途防火対象物に対して早急に立入検査を実施。防火管理者

が行う防火管理業務の懈怠を命令し是正させるなど、重大な消防法令違反対象物に対して是正指導を行い改善させたもので、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現に大きく寄与した功績による。

### 予防業務の推進(賞与)

#### 鶴見消防署

予防担当

|       |        |
|-------|--------|
| 消防司令  | 横田 丈史  |
| 消防司令補 | 宮田 貴之  |
| 消防司令補 | 植田 裕貴  |
| 消防士長  | 大川 圭造  |
| 消防士長  | 山下 三和子 |
| 消防士長  | 川西 尚悟  |
| 消防士長  | 菊地 泰成  |

管内において消防への届出なく使用を開始した飲食店が入る特定の複合用途防火対象物に対する、自動火災報知設備など複数の消防用設備等の設置命令が関係者の抵抗もあり不履行となっていたが、予防担当職員が是正指導に向け、改めて現状分析や課題の解決について検討し、安全性と実現性を兼ねる是正手法を提案。予防部担当者や警察との連携により100回を超える指導の機会を作って関係者に対応した結果、全ての命令事項を改善させたもので、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現に大きく寄与した功績による。

### 予防業務の推進(賞与)

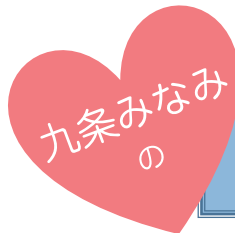
#### 住之江消防署

地域担当



※所属・階級は表彰日現在のものです





# 昇任試験問題研究所

Vol.42



ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。  
主席研究員「九条みなみ」は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

## 第42話 ～さらに上へまいりまーす！～

みなみ：それじゃあ今月も「非常用エレベーター」ね。前は建築基準法施行令からの出題のみだったけれど、今月は火災予防条例からの出題も用意したわ♥それじゃあ、始めるわよ!!

### 第1問

建築基準法施行令第129条の13の3に規定する「非常用エレベーターの設置及び構造」に関する記述について、次の（①）～（⑤）にあてはまる適切な語句を下の語群から選んでその記号を解答欄に記入してください。（10点）

- （1）乗降ロビーには、見やすい方法で、積載量及び最大定員のほか、非常用エレベーターである旨、避難階における（①）その他避難上必要な事項を明示した標識を掲示し、かつ、非常の用に供している場合においてその旨を明示することができる（②）その他これに類するものを設けること。
- （2）乗降ロビーの出入口には、（③）を設けること。
- （3）乗降ロビーの天井及び壁の室内に面する部分は、仕上りを不燃材料でし、かつ、その下地を（④）で造ること。
- （4）非常用エレベーターには、（⑤）を設けなければならない。

#### 【語群】

ア. 標識 イ. 非常電源 ウ. 平面図 エ. 排煙設備 オ. 特定防火設備 カ. 不燃材料 キ. 表示灯  
ク. 準不燃材料 ケ. 避難経路 コ. 予備電源 サ. 難燃材料 シ. 防火設備 ス. 耐火材料

|  |          |   |            |   |
|--|----------|---|------------|---|
|  |          |   | オ (特定防火設備) | ③ |
|  | コ (予備電源) | ⑤ | キ (表示灯)    | ② |
|  | カ (不燃材料) | ④ | ケ (避難経路)   | ① |

【解答】 各2点 各1点

### 第2問

大阪市火災予防条例第55条の3第3項の規定に関する記述について、次の（①）～（⑤）にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。（10点）

- 3 非常用エレベーターの（①）は、消防活動を容易に行うために、次の各号に定めるところにより、適切に管理しなければならない。  
（1）消防隊員の活動を妨げるおそれのある物品等を置かないこと  
（2）消防活動上必要な（②）、（③）、（④）その他これらに類するものの識別を妨げるおそれのある設備又は（⑤）等を設けないこと

|  |       |   |       |   |
|--|-------|---|-------|---|
|  |       |   | 標識    | ③ |
|  | 表飾用物品 | ⑤ | 施設    | ② |
|  | 表示灯   | ④ | 乗降ロビー | ① |

【解答】 各2点 各1点 各1点

どう？前日も言ったけど「非常用エレベーター」は火災時に私たち消防職員が使用するために設置されているんだから、しっかりと勉強しとかなきゃダメよ♥  
それと、災害時に確実に使用できるよう消防運転の方法も再確認しておくこと！

それじゃあ今回はここまで。来月も引き続き「建築基準法」を研究するわ。これまた出題確率の高い「避難階段及び特別避難階段の構造」に関する問題よ。各自予習しておいてね♥

#### 一次消防スイッチ 二次消防スイッチ



消防運転方法銘板

全ての隊員向け

高度専門教育訓練センター（救命士養成担当）

# 現場に活かす！救急救命士国家試験問題

救急救命士を目指す者が挑む国家試験。その中から、救命士だけではなく**災害現場で活動する全ての隊員**が知識として身につけておくべき内容を紹介していきます。今月は、スクープストレッチャーに関する問題です。災害現場や訓練で使用する機会も多く、消火隊員や救助隊員にも馴染みのある資器材ですが、今回を契機としてより理解を深めましょう！

## 第46回（令和5年3月）A問題

スクープストレッチャーについて正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 狭隘な階段の搬送に適している。
- 2. 差し込む時に5人以上の人員を要する。
- 3. 差し込む時にログロール操作を要する。
- 4. 搬送中ベルトによる固定は不要である。
- 5. 骨盤骨折を疑う傷病者の搬送に適している。

### ヒントレベル



### 用語の説明

#### ●ログロール

傷病者の身体を1本の丸太に見立て、脊柱に回旋や屈曲を加えずに転がす動作のこと（令和5年2月号に写真あり）。

#### ●骨盤骨折

骨盤内には、主要な動脈から臓器へと至る血管が集まり、また、静脈が密集している部分もある。交通事故や墜落などの強い力を受け、骨盤を骨折してこれらの動静脈を損傷すると、体内で大量出血をきたす。このとき、ログロールなどによって骨盤を動かせば、さらに出血を助長させてしまうことがある。

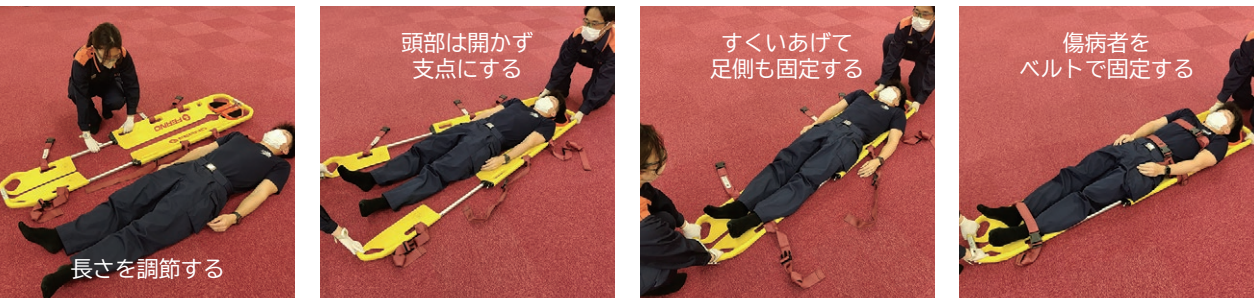
### 解答・解説

解答 5. 骨盤骨折を疑う傷病者の搬送に適している。

#### ●スクープストレッチャー

アルミ合金やポリマー樹脂でできており、バックボードと同様に全身固定の必要なときに用いる。下の写真のスクープストレッチャーでは最大荷重は150kg。本体を二分割して傷病者をすくいあげる（scoop、スクープ）ように乗せる。

《基本的な使用方法》



バックボードでは傷病者を側臥位まで動かさなければならないが、スクープストレッチャーではその必要はない（選択肢3.は×）ため、骨盤骨折、腸管脱出、異物が刺さっているなどの傷病者の搬送に適している（選択肢5.は○）。狭隘な場所では取り回しが難しい（選択肢1.は×）。差し込むときは2人以上でできる（選択肢2.は×）。必ずベルトで固定しなければならない（選択肢4.は×）。

（参考・引用 株式会社へるす出版「第46回 救急救命士国家試験問題 解答・解説集」）

# 皆さんのギモン大募集!!

## 新企画

## 教えて〇〇課 (仮)

がスタートします!

皆さんからお寄せいただく様々な質問に、大阪市消防局各課職員がお答えする新コーナー「教えて〇〇課 (仮)」(令和6年10月号スタート予定)。いまさら聞けない「ちょっとした疑問」など、日頃のモヤモヤを大阪消防編集部宛にお寄せください。メールでも電話でもお気軽にどうぞ。

消防署の建て替え計画って  
どうやって決まって、  
どんなふうに進むの?

報道発表ってなに?  
どんなことやるの?  
取材対応の進め方は?

市会の委員会とか、  
消防の答弁ってなに?  
スケジュールは?

消防局でのDXって、  
どんな展望があるの?  
現在、進められている  
のはどんなこと?



※お名前、所属などは伏せて掲載します。  
質問内容は業務に関するものに限りします。

【大阪消防編集部】✉pa0110@city.osaka.lg.jp ☎06-4393-6036 (内線910-429)

## 編集後記



Facebook



X  
(旧:Twitter)



Instagram



YouTube



## 表紙のウラ側



令和6年3月13日、高度専門教育訓練センターにて、消防救助技術練成会出場中の隊員を撮影しました。

大阪消防誌に携わるようになって、そろそろ半年。予防課、規制課、救急課……なんとなく分かってきたけれど、いまだに謎なのは、いつも背を向けて座っている国際博覧会担当の皆さんのお仕事だったりします。そんな「いまさら聞けない」をネタにする新企画「教えて〇〇課」をスタートすべく、編集部では皆様からの投稿を絶賛募集中です。あなたのその疑問、もしかしたらみんなのギモンかもしれません。いま明かされる大阪市消防局の謎やいかに……間違いなく、楽しくてためになる連載になりそうです。(H)